

まちづくり研究を交流の広場に

都市政策研究会議座長 羽 貝 正 美

『光陰矢のごとし』八王子市都市政策研究会議の調査研究活動も、平成15年7月の設置から早いもので1年9ヶ月。16年度の活動は、新たに2名の市民委員と3名の職員研究員を迎え、事務局の5名の職員とともに、総勢24名による共同研究となった。テーマは「八王子が創造する新しい自治のしくみとまちづくり」。本誌『まち研はちおうじ』第2号にはその主要な活動成果がおさめられている。

今年度の活動の節目にあたりこのテーマに再度向きあう時、そこに含まれるであろう様々な課題が想起され、果敢にも取り組んできたこのテーマの大きさや広がりやを改めて実感する。「新しい自治のしくみ」とはどのようなものか。その担い手は誰か。「新しいまちづくり」にはいかなる価値観や感性、また発想の転換が必要か。両者はどうリンクしているのか。いずれも容易に答えられる問いではない。また解答がひとつであるとも限らない。むしろ、中・長期的観点にたった魅力ある都市づくりや安心して暮らせる地域づくりを重視するならば、多様な視点からの複数の選択肢の検討が求められる。

ではそうした検討作業に必要な基礎的な条件とは何か。まず重要と思われることは、地域において顕在化している、あるいは潜在している諸問題を行政が広くキャッチし、これを深くとらえるということである。一方で、社会経済状況の推移や市民の価値観・選好の変化を大づかみにとらえつつ、他方で、そうした変化の本質や現象の背後にあるものを深く探求することといってもよい。それは単に現象を説明するだけでなく、「なぜ」という問いかけをもってその背景を探り諸要因を抽出していく作業を意味する。その過程では既存の施策や取り組みに対する客観的な評価も不可欠となる。邦訳を通してわが国にも知られるアメリカの社会学者、R・コリンズの

『脱常識の社会学(Sociological Insight)』はこうした点を考えるうえで示唆に富む。

しかし、行政が政策の主要な担い手だとしても、周知のように、ひとり行政のみが一連の政策過程のすべてを担っているわけではない。行政による問題の発見や把握、分析や検討など、先にふれたように「問題を広く、深くとらえる」ためには、また政策の立案・決定・執行・評価の過程をらせん状に高めながら連続させていくためには、市民や企業、地域との「連携・協力」がどうしても必要となる。言い換えれば市民や地域に常に開かれたオープンな過程が不可欠ではないだろうか。但し、その過程における実践を通して、「連携・協力」の理念や基本ルール、その具体的なしくみをより確かなものにしていくことが欠かせない。「協働」や「自助・共助・公助」と同様、ことばだけを一人歩きさせてはならない。それは行政、市民双方の課題でもある。

少子高齢化というメガトレンドを引き合いに出すまでもなく、近未来の社会はこれまでとは相当に異なった姿をとるものと予想される。不透明な未知の世界に向かおうとする中、今日ほど、地に足のついた「まちづくり研究」や「政策研究」が求められる時代はない。都市政策研究会議と本誌が、行政と市民の自由な発想による研究の場、広く知恵を結集する交流の広場となることを願う。

(はがい まさみ・

東京都立大学大学院都市科学研究科教授)

八王子市都市政策研究会議共同研究テーマ

八王子が創造する新しい自治のしくみとまちづくり

しくみ部会テーマ

八王子の自治をひらく

- はじめに 自治の再生と都市経営
- 住民自治を育むしくみづくりとその単位 -
- 第 1 章 八王子市に地域自治組織を！
- 第 2 章 市民活動と行政の協働による新しい自治の創造に向けて
- 第 3 章 シビック・エリア（行政区画）の再編と地域事務所の機能拡充
- 出先機関からシビック・センターへ -
- 第 4 章 指定都市制度を生かした分権都市づくり
- 政令指定都市移行・市町村合併と新行政区 -
- 第 5 章 地方主権をすすめるために
- 補完性の原則と広域連携 -
- おわりに 「ひらかれた自治」と相互補完のネットワーク化

政策部会テーマ

八王子の「顔」をつくる

- はじめに 八王子の「顔」をつくる - 研究の概要 -
序 まちづくり新提案
- 未来標準はネオシニア -
- 第 1 章 新「はちおうじスタイル」始動。「主役」にネオシニアを
- まちの「心」(しん)からの発信 -
- 第 2 章 ネオシニアにもやさしく利用できる交通機能を
- 人にうれしい、まちにやさしい公共交通 -
- 第 3 章 ネオシニアを機軸として地域活動の推進を
- ネオシニアが市民活動の中心となり活躍するまち“八王子”をめざして -
- 第 4 章 ネオシニア動く！！子どもたちに輝く未来を
- つながり続ける。そして、拓くまちの未来 -
- 第 5 章 八王子の自然からネオシニアの健康づくりを
- 川は元気の源、大地は食の源 -
- 第 6 章 ネオシニアにやさしいまちづくりを
- 山の魅力をいかしたまちづくりと八王子の新たな定番 -
- おわりに 本研究の成果と課題